

事業所名 グループホーム 平津

日付 平成 21 年 4 月 21 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 医療機関経営者
実務経験10年以上

高齢者福祉・医療における
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

施設に入ると我が家に帰ってきた如く、評価員もなぜか心身ともに溶け込んでいたそんな環境を以下に列記する。

- ・職員は職員自身が、働きやすい環境(職場)にするため、理念である「個人の尊厳が保たれる その人らしい穏やかな生活援助」「家族も安心して任せられるケア」を深く心に刻みながらその完成を目指し、日々の笑顔と感謝を忘れないように務めている。また、入居者に残っているものを最大限に引き出す努力を惜しまず、入居者個々の気持ちを汲み取りながら(コミュニケーションを取りながら)介護に取り組んでいる。「どうしたら」を常に考え、入居者のペースに合わせた介護を心がけている。
- ・入居者と会話をする時は、必ず視線を入居者と同じ目線まで下げ、決して否定しないようにしている配慮。また、食事中は笑いが絶えない中にも目を配る細かい配慮がなされている。
- ・各居室の入口には、場所間違い防止のために、名前や顔写真などが付している。また、季節に合わせたのれんも掛けられ、ほのぼのしい。また、入居者各人も首にハンカチーフを巻いたり、髪はすこやかや苑の散髪サービスを利用したりして、お洒落感を維持している。当日、車イスの入居者を職員が介助しながら共同スペースの椅子に移動していた際、着衣が乱れる場面に遭遇したが、その後しっかりと職員がカバーしていることから伺われる。
- ・身体拘束廃止委員会、待遇委員会、環境委員会、感染対策委員会など、各委員会が起動している。例えば、感染対策委員会の目標「徹底した手洗いをし、感染経路を断つ」を実行すべく、当ホーム(平津)では食事前のアルコール消毒の徹底を職員一丸となって実践している。こういった日々委員会提案される議題をアスカ会全体で共有し、学びあう事で、より良い環境での介護に繋がっている。そして、介護の質向上のために職員同士で情報交換を行ったりできる格好の場ともなっている。また、日頃の問題を解決するためにヒアリングする「ドキッ!と報告書」を作成し、各職場での実践介護に取り入れている。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

施設内では職員は入居者に対して、施設を有効に利用した生活リハビリや、外部の人を招いた職場体験等の取り組みを行い生活感に変化を与えているが、地域の人達と関わりあえるような外出環境があればもっと生活感が高まると思う。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	「個人の尊厳が保たれる その人らしい穏やかな生活援助」「家族も安心して任せられるケア」を理念に、自分の家族を入れても、安心できるようなグループホームを目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	共同スペースでは、職員は入居者に寄り添いながら介助している。また、お昼は必ず一緒に行い、朝、夕食は入居者のペースに合わせて行っている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	職員は、入居者が培ってきた経験や歴史を決して否定しないで、会話をするように心がけている。また、排泄関係や入居者のプライドに関する内容は小声で行うようにしている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	グループ全体で様々な委員会(身体拘束廃止委員会、待遇委員会、環境委員会など)を設けることで、日頃の問題を解決したり、介護の質向上のために、職員同士で情報交換を行ったりしている。		